



いせはら ネット 通信

市議 土山由美子

6月議会報告

議会の様子は市のHPでご覧になれます。
<http://www.isehara-city.stream.jfit.co.jp>

震災はいつ来てもおかしくない 備えは大丈夫？



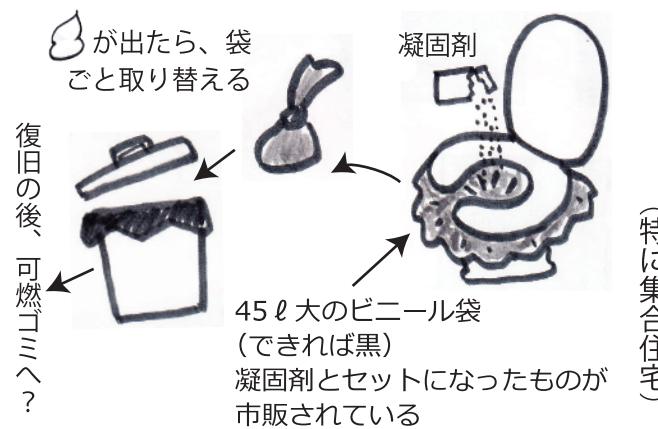
伊勢原市では、新しい地域防災計画が平成25年3月に発表されました。そこには東日本大震災の教訓や集中豪雨など近年の気象を踏まえた対策が盛り込まれ、また、最新の知見に基づき火山災害対策、森林火災対策等が新設されました。

市民は、「自らの身は自ら守る」という自主防災の観点から、**最低3日分の食料等**を備蓄すること、住宅の耐震化、災害時の家族内の連絡方法、隣近所との助け合いを想定しての防災訓練参加など、積極的な姿勢が求められています。

市は、市民の生命、身体および財産を保護するため、被害を最小限に食い止める取り組みを行い、国・県と、平常時からの連携協力の体制を築いておくことが必要です。

1995年に発生した阪神淡路大震災以来、日本列島は地震の活動期に入つたとの指摘があり、国は首都直下型地震を想定しており、そこには伊勢原断層による活断層地震も含まれています。また、神奈川県は東海地震を含む9つの甚大な地震を想定しており、長い期間ひずみの蓄積が解放されていないことから切迫性が高いと言われています。

水、食料・・・トイレはどうする？



**大地震！配水管が壊れた
かもしれない！トイレを詰まらせると復旧が大変！**

(特に集合住宅)

実際に通常の市民生活が滞るような災害発生の事態では、何が最も問題となるでしょうか。情報、家族の安否、ライフライン、医療の確保などがありますが、待ったなしであるトイレについては、非常時の対策が今ひとつ明確となっていません。

トイレ問題は、女性の立場から、また障がい者、高齢者も同様、最も心配されることのひとつです。大地震発生で、自宅の損壊が居住を続ける上で危険な場合はやむを得ませんが、ライフラインが不充分なままで自宅での生活を継続することはあり得ることです。そこで、停電・断水などの場合のトイレについて必要な情報を具体的に周知することを求めました。

トイレが使えなかつたら、段ボール箱等にビニール袋をかぶせて使用する。凝固剤がなかつたら犬用のトイレシートや猫用の紙砂、あるいは新聞紙などが利用できる。尿は紙コップなどでとてバケツに入れておく方法もある。

※簡易トイレが市販されています。様々な種類あります。

3日分の食料や飲料水、災害時に役立ちそうな品々をまとめた、防災意識啓発や注意喚起のために市役所ホールや図書館などに展示することを提案しました。

防災の備えの展示を

7/27～8/18の金・土・日に大山でイベント「光の競演～夜景と絵とうろう～」がありました。大きな絵灯籠と牛乳パックの小さな灯籠が参道を彩り、ケーブルカーが夜9時まで運行、夜景が楽しめてジャズやオカリナのコンサートなども行われ、賑わいました。

伊勢原ネットでは絵灯籠と牛乳パックの灯籠を出品しました。牛乳パックの灯籠は気軽に作れて風情もあります。もっと数が揃えばもっと幻想的になりそう。来年、市民の皆さんも参加しませんか。イベントの楽しみが倍増します。



▲『宇宙飛ぶ鯨に乗って』
高さは1.4mほど。大山新道脇にて

子どもを虐待から守ろう

聞くのもつらくなきニュースが頻繁に報じられます。虐待にまわりが早く気づき、適切な対応をすることが必要です。これ以上子ども達が不幸に陥らないように対策を提案しました。

●増加し続ける児童虐待

平成12年、児童虐待に関する法律が制定されました。国は平成2年から児童虐待の相談件数の統計を取っていますが、当初全国で1,101件であったのが、昨年は5万9,919件、実に60倍に増加しています。

児童虐待とは保護者がその監護する児童に対し行う次の行為。

- 1 体に傷を負わせたり、命に危機が及ぶような行為「身体的虐待」
- 2 暴力的な言葉を浴びせたり、兄弟との差別、話しかけられても無視する、配偶者間のDVなど、子どもの心を傷つける「心理的虐待」
- 3 必要な衣食の世話をせずに放置する、必要な医療を受けさせない、家に閉じ込めて学校や保育所に行かせないなどの「ネグレクト」

●積極的な研修が必要

市からの答弁では、乳幼児や児童を見守っている関係機関や教職員は、危機意識をもつて研修へ取り組むことが明示されました。

決して許されない、これらの虐待行為は人権を著しく侵害し、心身の成長及び人格の形成に重大な影響を与えます。

国や自治体は、児童虐待の予防、早期発見、防止に責務があり、虐待を受けた児童の保護、自立のための支援を行わなければなりません。

●自治体の責任

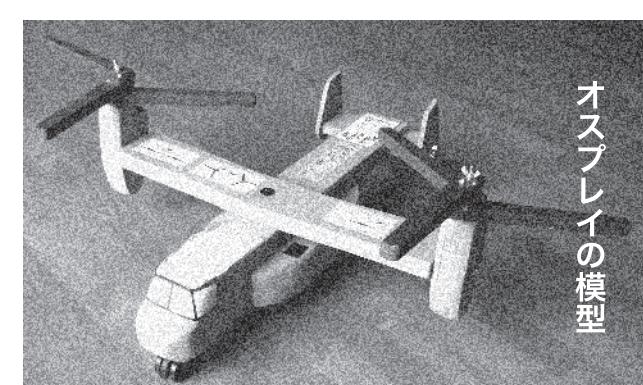
『横浜の女児遺体遺棄事件』では、

●早期発見・早期対応のために

児童の保護者が転居を繰り返すうちに、女児の存在確認が、それぞれの転居先の自治体で不充分であつたことが指摘されています。生後4ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」や乳幼児健康診査、予防接種、就学時健康診断、また小学校の在籍確認などは、子どもの状況を把握する機会として重要です。

幼稚園、保育園、小中学校の先生は、日々子どもたちに接し、虐待を発見しやすい場にいますが、虐待を受ける子どもは、その原因は自分にあると考え、誰にも相談できず、発見が遅れる状況にあります。特に「性的虐待」は相談することをためらう傾向が課題です。

児童虐待を早期に発見するために、研修などによって、わずかなサインに気が付くための感受性を育成する姿勢が求められます。



沖縄の人々の思いを踏みにじる、米軍のオスプレイ配備。政権は唯々諾々。

8/18 文化会館、市主催で『平和のつどい』が行われた。市民の参加コーナーで、平和を考える会・伊勢原は「オスプレイってどんなもの?」という展示を行った。オスプレイは普天間基地に配備され、基地周辺と全国で訓練飛行が行われる。欠陥機であり墜落の危険がある。厚木基地にも飛来の恐れあり。

○編集後記

6月議会の報告が8月になってしまってしまってすみません。

8月は戦争を振り返る月。若い頃、日本人はなんであんな戦争に突入してしまったのか理解できなかつた。しかしこのごろの選挙結果や政治家の言動、マスコミの風潮などを見ると、あ、はじめはこんなふうだったのかなあと思つ…(さとう)

いせはらネット通信の配布ボランティア募集

ご自宅の近辺あるいはご希望の場所に50枚程度配っていただけませんか?年4回発行しています。

運動になります
(^-^)

代表 浜田順子

7月に行われた参議院選は自民党的の圧勝に終わりました。自民党は、アベノミクスという経済政策に重点をおき、原発推進や憲法の改正案などの争点とすべき政策をえて前面に出しました。原発事故から汚染が広がることは、以前からわかつていたはずではないでしょうか。

衆参のねじれがなくなり、政権が安定した後に公表するということは、これまで原発推進を握つてきた「政・官・業・学」の癒着がなんら変わつていないことを示すもので、國民はしつかり判断しなければ改めて感じます。

発建屋に流入し、それが汚染水となつて海に流れ込んでおり、処理のために多額の国費が投じられることが発表されました。原発事故から汚染が広がることは、以前からわかつていたはずではないでしょうか。